

# 新パナマ運河 より良い航路

## パナマ運河—総括

過去 92 年間にわたり、パナマ運河は主要産物の貿易航路として機能してきた。パナマ運河の重要性はアメリカ合衆国とアジア地域間の貿易拡大に伴い増大し続けている。今日、より多くのパナマックスサイズの船舶（運河を通行可能な最大許容サイズの船舶）が運河を利用し、過去にない大量の貨物を運んでいる。しかしながらバルク輸送が主流であった従来の貨物は現在コンテナに取って代われ、これらの積み荷が運河を通じた貿易増大の主力となっている。これらのコンテナ貨物の増加によって、急速に成長する信頼度の高い方法のひとつである「完全海路貿易ルート」が作られた。

安全で確かな航路をあらゆる船舶や貨物に供給するために、パナマ政府の自治機関である運河庁は、多様なサービスを低価格で顧客に提供している。1999 年 12 月 31 日の運河返還以来、ACP はその運営を公益法人から、顧客へのサービスと信頼に焦点を当てた運営、つまり、市場志向のビジネスモデルへと移行した。貿易は拡大の一途をたどり、ACP は水路の安全と効率、信頼性を奨励する日常業務を通じて利用者やパナマ国民に対してサービスを行っている。

主要事項	
位置	アメリカ大陸とパナマ地峡間のもっとも狭い地域で大西洋と太平洋を結んでいる。
運河の長さ	50 マイル (80 キロメートル)
業務時間	年 365 日 24 時間
作業方法	<p>パナマ運河には 3 つの閘門（ロック）がある。ガツン、ペドロ・ミゲル、ミラフローレス、それぞれふたつの水路（レーン）から成る。これらの閘門は、昇降機の役割をもち、船舶を海拔 85 フィート上昇させ、船舶は大西洋と太平洋からガツン湖へと移動する。</p> <p>ガツン湖から各閘門への重力移動により、水は中央や側壁から各閘門の下に広がる給排水システムを通じて入っていく。平均 5500 万ガロンの水で、閘室（コンクリート製の部屋）は約 8 分間で満量となる。大陸分岐線を通過した船舶は、パナマ地峡を渡り終えれば再び海拔 0 まで降ろされる。</p>
閘門のサイズ	<p>各閘門は幅 33.53 メートル（110 フィート）、長さ 304.8 メートル（1000 フィート）である。</p> <p>運河を航行できる最大寸法の船舶は幅が 32.3 メートル（106 フィート）、長さ 294.3 メートル（965 フィート）、（船舶のタイプによる）、熱帯生水内における喫水量は水深 12 メートル（39.5 フィート）である。</p>
通行	2005 年度には 14,011 隻の船舶が航行した。運河が開通した 1914 年 8 月 15 日以来、累計で 92 万 2000 隻以上の船舶が運河を通行したことになる。

## 新パナマ運河 より良い航路

平均通航時間	<p>平均して船舶の航行時間は8時間から10時間である。</p> <p>運河滞在時間数：運河航行時間は、通過待ち時間を含めて平均24.58時間（2005年度）である。</p>
貿易	<p>世界貿易量（英トン）の4%、又、合衆国貿易量の16%の貨物が運河を通過しており、運河の航行量の68%はアメリカからの又は、アメリカへの輸出入によるものである。</p>
主要商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンテナ貨物</li> <li>・ 穀物</li> <li>・ 鉄鋼製品</li> <li>・ 石炭とコークス</li> <li>・ 石油製品</li> <li>・ 化学製品</li> <li>・ リン酸塩と肥料</li> <li>・ 車輛</li> </ul>
主な貿易ルート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アメリカ合衆国東海岸—アジア</li> <li>・ ヨーロッパ—南米西海岸</li> <li>・ アメリカ合衆国東海岸—南米西海岸</li> <li>・ アメリカ合衆国東海岸—合衆国西海岸</li> <li>・ アメリカ合衆国東海岸—南米西海岸</li> <li>・ 南米東海岸—南米西海岸</li> <li>・ ヨーロッパ—アメリカ合衆国西海岸とカナダ</li> <li>・ 世界一周</li> </ul>
主要な運河利用国	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アメリカ合衆国</li> <li>2. 中華人民共和国</li> <li>3. 日本</li> <li>4. チリ</li> <li>5. 韓国</li> <li>6. ペルー</li> <li>7. カナダ</li> <li>8. エクアドル</li> <li>9. コロンビア</li> <li>10. メキシコ</li> </ol>